

令和5年度職員採用選考試験（第3回）

獣医師 専門記述試験（6.1.14）

= 課 題 =

○ 家畜伝染病について

- 1 広島県では、家畜伝染病予防法に定める疾病のうち、県内で発生するリスクが高いものとして、「高病原性鳥インフルエンザ」、「豚熱」、「アフリカ豚熱」、「口蹄疫」の四疾病を重要視しています。

このうち、一疾病を選び、①原因病原体、②感染又は農場への侵入経路、③特徴的な症状、④対処などについて、知るところを記述しなさい。

- 2 動物のプリオン病には、牛海綿状脳症、スクレーピー、ミンク脳症などがあります。

このうち牛の海綿状脳症（伝達性海綿状脳症）の日本での初発生は2001年で、その後20年以上に亘り対策が取られてきました。

この牛の伝達性海綿状脳症について、①原因物質、②伝達（感染）経路、③特徴的な症状、④対処などについて、知るところを記述しなさい。

○ 人獣共通感染症（zoonosis）について

公衆衛生上重要な動物由来感染症には、狂犬病、トキソプラズマ病、犬回虫症、E型肝炎、結核病など様々な疾病があり、家庭で飼育される、いわゆる「コンパニオンアニマル」にも注意すべき疾病があります。

動物における公衆衛生重要な動物由来感染症名を一つ上げ、知るところをできるだけ多く記述しなさい。（例示以外の疾病も記述可）

○ 動物と共生する社会について

現在、世界的にアニマルウェルフェアやSDGsが大きな話題となっていますが、日本の畜産業や獣医学領域におけるこれらの用語や状況について、あなたの思うところを記入しなさい。